

登録No. S-091  
 登録名 Panitumumab/SOX療法  
 催吐性リスク 中等度  
 適応疾患 結腸・直腸癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	S-1	基準量		d1夕~15朝	p.o.	分2朝夕食後	2週投与1週休薬
Rp.2	パニツムマブ 生食	6mg/kg 100mL/body		d1	d.i.v.	60min	0.2又は0.22μmフィルター使用
Rp.3	生食	50mL/body		d1	d.i.v.	30min	パニツムマブフラッシュ用
Rp.4	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	100mL/body 9.9mg/body		d1	d.i.v.	30min	
Rp.5	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン前 末梢神経障害予防
Rp.6	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m <sup>2</sup> 500mL/body		d1	d.i.v.	2hr	血管痛あればデキサメタゾン 1.65mg混注
Rp.7	グルコン酸Ca 硫酸Mg 5%ブドウ糖液	10mL/body 10mL/body 50mL/body		d1	d.i.v.	15min	オキサリプラチン後 末梢神経障害予防

1クールの期間 3週間  
 その他（副作用・PS規定等）

SOX: 副作用：末梢神経障害、骨髄抑制、消化器症状、色素沈着

項目	基準	S-1	L-OHP
WBC	<1000	-1段階	-1段階
Neu	<500	-1段階	-1段階
Plt	<5万	-1段階	-1段階
	≥5万、<7.5万	—	-1段階
	次コース開始予定日 ≥7.5万、<10万	—	-1段階
下痢	Grade3以上	-1段階	—

Panitumumab: 副作用：皮疹、低マグネシウム血症、間質性肺炎

- Infusion reaction対策の前投薬は原則不要だが必要に応じて考慮する。  
 重度(Grade3以上)のInfusion reactionが現れた場合、本剤の投与中止。  
 Grade2以下は投与速度減じて慎重投与。
- 1回投与量が1000mgを超えて使用する場合は生食を添加して全量を約150mLとし  
 90分以上かけて点滴静注。